



プレーパーク レポート

第5号

2022年8月
小鹿野町



ウォータースライダー！
みんなでつくって
すべりました！

大型遊具のウォータースライダー登場！

7月31日の開催では、小鹿野町のプレーパークとして初の試みとなる大型遊具づくりをしました。木材を切ったり組み合わせたたりしながら、みんなで一緒につくったウォータースライダー。

ノコギリで木材を切る作業は特に人気に順番に交代しながら多くの子どもたちが挑戦していました。

猛暑の一日でしたが、子どもたちは何度も何度も滑って楽しんでいました。その様子を見て「いいなあ！」と羨ましがる大人も多く、着替えがないことを悔やんでいました。（数人は着替えがなくてもチャレンジしていました！）

8月はぜひ、大人のみなさんも着替えを持って遊びに来てくださいね。地域のみなで力を合わせ、楽しみながら楽しい遊び場をつくっていきましょう！



ぜひ、ご参加
ください！

プレーリーダー養成講座スケジュール

8月28日	9月25日	11月27日	1月29日	2月26日	3月5日
子どもと遊び	プレーパーク	大人の関わり方	現場学習／ 大人の関わり方	リフレクション	現場学習／ 遊びの場づくり

6月の開催に引き続き猛暑の中での開催となりました。水遊びを中心にしながら、木陰を活用して遊び環境を展開しました。

ペットボトルを加工した水鉄砲づくりはよくやっているのですが、今回はプレーリーダーが持参した的当てセット（丸くカットした牛乳パックにイラストを描き、水に濡れるとすぐ千切れる紙テープで吊るす）が大人気。絵を描いて吊るすとすぐに水をかけて的当て遊びをしていました。



遊びの様子



それ以外にも木工作や段ボールや雨樋、カラーボールを使った遊びなど、いつもの遊びでもじっくり遊ぶことが出来ました。

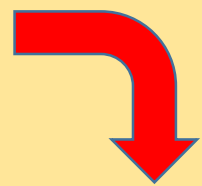
盛夏の中、セミや蝶、クワガタムシなどを捕まえる子どもたちの姿も多く見られました。

この日はみどりの村で魚のつかみ取り大会も同時に行っていたため、そのイベントを目掛けて遊びに来た親子も村のひろばでのプレーパークを覗きに来て、楽しそうな光景に惹かれて一緒に遊ぶという流れもありました。

今回の開催のハイライトは、何ととってもウォータースライダーです。

作る工程も楽しく参加型で進みましたが、やはり完成後に子どもたちが満面の笑みで滑り続ける姿がとても印象的でした。高さ145cm、斜度22度のスライダーはいざ立ってみると小さな子どもにとっては怖さを感じることもあるほどの斜面となっています。初めは斜面の途中から大人と手をつないで恐る恐る滑っていた子どもも、何度か繰り返す内に一人で滑れるようになっていました。

滑り方の工夫や上手に滑る子どもの模倣も見られ、大人の指導なくとも自然と子どもたち同士の交流の中からいろいろなことを学んでいるのだなと感ずることができました。



ハイライト

完成後にシートの長さがやや足りず、シートの外の草地にまで勢い良く滑る子どももいました。それを見た大人たちが「シート追加でないの？」と声をあげ、プレーリーダーと相談。結果、シートを半分にカットして延ばすことになりました。

プレーパークは完成がなく、常に使いながら作り続けていく遊び場です。「もっとこうしたらおもしろそう！」という発想をカタチにしていく良き凡例となりました。

